

第184号

平成21年(2009年)12月定例会

- ◆ 2面・3面…会派のあいさつ
- ◆ 4面・5面…定例会の概要・代表質問
- ◆ 6面・7面…個人質問
- ◆ 8面…議決議案等

なは

市議会だより

平成22年(2010年)1月15日発行

那覇市議会

那覇市上之屋1丁目2番1号

電話 (098) 862-8194

FAX (098) 862-8296

<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>



謹んで新春のお喜びを申し上げます



副議長 翁長 俊英

年頭のごあいさつ

魅力あふれる那覇のまちづくりに向けて

平成22年(2010年)元旦



議長 金城 徹

新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。旧年中は、私ども那覇市議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米欧に端を發した金融危機の波が国内経済にも大きく影を落とし、依然として景気の先行きは不透明であります。また、新型インフルエンザの世界的な流行により、国内、県内においても、重症化し亡くなる方も出るなど、いままって猛威を振るっている状況であり、今後も感染の拡大が懸念されております。一方で、昨年は那覇港の大型旅客船バースや、那覇空港の新貨物ターミナルなど、アジア各国との一層の連携強化が期待できる施設が相次いで供用開始し、国際観光都市、東アジアの拠点都市としての展望が開けた年でもありました。また、今春には、いよいよ奥武山野球場が完成し、プロ野球の公式戦開催、来春の巨人軍キャンプも決定するなど、市民、県民の皆様の夢と希望が溢れるまちづくりが着実に進められているところでございます。

私ども那覇市議会におきましては、昨年、四年に一度の改選が行われ、新たな議会構成のもと、更なる市政発展と市民福祉の向上を図るためにも、議会の益々の活性化に向けた決意を新たにしているところであります。

本格的な地方分権の夜明けを迎え、二元代表制の一翼を担う議決機関として、本市の輝ける未来を切り拓くための使命を果たすべく、より一層の研鑽と不断の努力を通じて、チェック機能や政策形成機能の充実を図りつつ、果敢に行動していく所存であります。

新年にあたり市政への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして、実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



自民・無所属連合

14人

年頭のあいさつ

会派のモットー・抱負

会派とは
市政に対して同じような考え方や意見をもった議員で構成(2人以上)し、議会内で活動する集団です。現在、本市議会には7会派があります。

(注) 役職外の議員は議席番号順

■会派のモットー
市民が那覇に生まれて・育って・住んで・大好きと誇れるまちづくりを目指します。

■会派の抱負
那覇市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私も会派は、昨年の7月に実施された市議会議員選挙において当選した十四名の議員によって「自民・無所属連合」会派を結成し、全員一丸となって議会活動を行ってまいりました。旧年中は格別なご理解とご指導を賜り、心よりお礼と感謝を申し上げます。

さて、昨年はおとし末からアメリカに端を発した百年に一度といわれる、金融危機による世界的経済危機。又、日本経済においても、契約社員の派遣切り等大荒れの一年のスタートとなりました。県内を見ましても、大型リゾート地建設計画断念と全国一高い失業率といった厳しい状況が続いております。このような厳しい生活環境の中、昨年の八月に行われた国政選挙において、自民党から民主党への政権交代が行われました。国民に対し約束した事(公約)をしっかりと実現していただきたい。とりわけ沖縄県において、普天間飛行場移設問題については早期の決断をしていただきたい。去った十二月議会において、最終本会議の冒頭に政府に対して十二もの意見書を提案し決議をしました。これからも私どもは

■会派のモットー
政治は実現力・あなたの声をかたちにします。

■会派の抱負
新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。



公明党

7人

す。本市では六種目七競技が開催されます。競技施設の整備、団体からの要望を議会の中で取り上げ、万全の体制で受け入れ準備を整えております。各都道府県から選ばれた選手の皆さんが、実力を発揮し、素晴らしい成績が収められますよう市民一体となって歓迎いたします。その他に、本市としてこれからも取り組まなければならない事業についてですが、少子高齢化対策、雇用の創出、中心市街地の活性化、老朽化し

た施設の整備、新庁舎建設など、解決すべき課題がありますので、引き続き課題解決に向けて全力で取り組みなければなりません。私も「自民・無所属連合」は与党最大会派として、市長が示した方針に腰を据えて、取り組める環境づくりを継続してまいりたいと考えております。その中で、市長がこれまでも掲げてきた市民との協働のまちづくりの集大成として「なは市民大学」や「DO 協働! それ行け営業部長」など市

民との対話に力を入れ、市民、団体、そして企業の方々が行政とともに手を取り合い取り組むこと、それが「市民との協働によるまちづくり」との姿勢を維持し、その中の課題を我々もともに取り組んでまいります。

私ども「自民・無所属連合」は翁長市長の「風格ある県都那覇」日本一の那覇市実現のために、共に諸事業の実現を目指して全力で取り組み、市民の皆様の負託にこたえて参る所存であり

カではオバマ大統領が誕生し我が国でも政権交代がなされ民主党中心の鳩山政権が誕生しました。政権合意では普天間基地は日米合意を見直すとし、県民に県外への期待が高まっています。政党の命は政策であり、政策は国民との公約です。鳩山総理には「最低でも県外」の県民との約束を是非とも実行して欲しいです。また、政権交代こそ最大の経済対策と公言したにもかかわらず新政権は未だ観るべき対策を打ち出すことすら出来ず二番底への懸念が一層深刻になっていきます。今すべきは子育て応援特別手当などの凍結された補正予算の解除ではないでしょうか。

さて、本市のシンボルであった泉崎の庁舎が老朽化によって四十四年の歴史に幕を閉じ、新年度から同地に那覇市新庁舎建設が施工され、三年度、二十四年の完成、新たな伝統と歴史が始まります。また、沖縄野球の殿堂奥武山野球場が普天間野球場の公式球場として

て新装新たにオープンします。那覇の新たな名所として野球場のみならずイベントの拠点となることが期待されています。また、若人の夢の祭典、インターハイが開催されます。公明党那覇市議団は翁長市長とともにこれらの事業の成功に頑張ってまいります。また、新年度の本市の予算構成にあたって、経済、雇用、福祉、教育、こども行政などを重点に一七二項目の施策を翁長市長に要望しました。本年はこれらの実現に取り組む決意です。今後とも公明党に対するご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

市民の皆様には二〇一〇年が輝かしい年でありましようご祈念申し上げ挨拶いたします。



日本共産党

5人



団 長
古堅 茂治



副 団 長
湧川 朝渉



幹 事 長
我如古 一郎



会 計 長
比嘉 瑞己



前田 千尋

■会派のモットー

良いことには協力、悪いことにはきっぱり反対―
「建設的野党」として、現実政治を前に動かします。

■会派の抱負

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、温かいご支持、ご支援を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、国政では主権者が自民・公明政権への退場の審判をくだし、新しい政治を本格的に探求する「新しい時期」がはじまっています。

日本共産党市議団は、引き続き「市民要求を実現してほしい」「政治を変えたい」という市民の期待にこたえとともに、市民の不安や批判を代弁して問題点をただし、現実政治を一步でも二歩でも前に動かす「建設的野党」として、全力で奮闘する決意です。

本年も、ご支援とご指導を宜しくお願い致します。

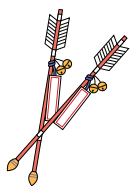
今年は、日米安保条約の改定五十周年の節目の年です。世界では、この半世紀で軍事同盟のもとにある国が、国連加盟国数の五三％から十六％、世界人口の六七％から十六％に減り、非同盟・非軍事が大きな流れです。

県内世論調査では、軍事同盟Ⅱ日米安保を否定する

県民が五二・五％で、日米安保維持は十六・七％、「県内移設」反対が七割です。

この県民意思に応え、普天間基地は、袋小路に入る「県外移設」ではなく、即時閉鎖・無条件撤去しかありません。

いま、米軍基地、雇用、福祉の問題でも、アメリカや財界の妨害が強まっています。これを打ち破るには、「日米安保絶対」「財界中心」の政治の転換をめざす党Ⅱの政治の転換をめぐす党Ⅱが求められています。みなさんのより一層のお力添えを心からお願い致します。結びに、みなさんのご健康とご多幸を祈念申しあげます。



社 社 連 合

3人



会 長
平良 識子



副 会 長
宮平 のり子



幹 事 長
下地 敏男

■会派のモットー

足場は常に市民。市民の生活と利益を守り、平和憲法を活かす政治を実現する。

■会派の抱負

那覇市民の皆様、明けましておめでとうございます。

そ う ぞ う

3人



会 長
宮國 恵徳



幹 事 長
新屋 清喜



総務局長
坂井 浩二

■会派のモットー

「暮らしがよくなった」と実感できる社会の実現を目指し、既成概念に捉われず、積極果敢に行動します。

■会派の抱負

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

そうぞう会派の宮國、新屋、坂井でございます。

新しい年を迎えるにあたり、常日頃市民の皆様方から多くの叱咤激励を頂戴しておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年度におきましては国内政治の大変革、「政権交代」が実現し、皆様方におかれましては、今日の世相の閉塞感を打開すべく、政治の新しい波を相当の期待感を持って感じておられる事かと存じます。

しかし、我が那覇市におきましては、待機児童の解消、学力低下問題、県内景

の実現と、そして沖縄の平和と自立に向けて新たな基礎建設を許さない取り組みを、皆様とともに全力で進めて参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

改 革 ク ラ ブ

3人



会 長
久高 友弘



幹 事 長
宮里 光雄



総務局長
山川 典二

■会派のモットー

七つの幸せの言葉 うれしい たのしい 幸せ 愛してる 大好き ありがとう ついてる 日々実践です。

■会派の抱負

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

私共「改革クラブ」は久高友弘（七期）、山川典二（四期）、宮里光雄（三期）の三人で構成され、ベテラン、中堅の働き盛りの議員集団

無 所 属

1人



前泊 美紀

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨今の社会の激動を時代の胎動と捉え、本年が新たな希望の芽吹く年となるよう、是非々々の立場で市民本位の議会活動に邁進して参ります。

皆様に幸多き年となりますよう心より祈念致します。

です。昨年七月の市議選で、皆様の絶大なるご支援を賜わり当選を果たすことが出来ました。改めて支持者の方々には厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は国政において歴史的な政権交代が実現し政治の変革の扉が開かれ、又、デフレ宣言、大企業の経営不振、景気の悪化等、経済も不透明な霧の中に突入しています。こういう先の見えない混乱な時代だからこそ、襟を正し、「信なくば立たず」という信念を基に、与党会派として問題山積する那覇市政の厳格なチェック機能を果たし是非々々の立場で、より良い那覇市民の福祉向上の為、活動し精進して参りますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。



■会派のモットー
「生活が第一」実現へ、思いを全てぶつけて下さい。皆様の思いを政策に変え、着実に実行して参ります。

■会派の抱負

那覇市民の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、多くの方々から議会活動に対するご指導ご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

長らく続く不況に、国際経済のあおりも受け、那覇市はいまだ高い失業率と景気低迷の中にあります。子育てや介護といった家族に係る問題も、依然として解決

には至っておりません。枚挙に暇が無いほど、問題は山積しております。雇用対策や中小零細企業への支援、保育制度や介護制度の充実など、税金の使途を見直しムダを省いた地域に役立つ政治を作り上げることが今こそ必要です。

とりわけ全国最低レベルの待機児童問題には、預かり時間延長や給食支援の充実、保育人数の拡大など、現状を打破する中身の伴った改善策を示して参ります。皆様の思いを政治にぶつけて頂くことで、日々の暮らしは変わります。パフォーマンスだけの政治ではなく、着実な政策の実行で、夢や希望を持って、暮らしやすさを実感できる那覇市を、共に実現して参りましょう。

12月
定例会

天皇陛下下の政治利用に反対する意見書等、十二件の意見書を可決
十二月定例会は、十二月一日から二十一日までの二十一日間開催され、意見書十二件、議案二十六件が可決・同意されました。

会議の概要

十二月一日の定例会初日は、冒頭で九件の平成二十年度決算認定議案等の採決が行われ、採決に先立ち、市街地再開発事業特別会計

議案質疑の後、採決された人事案件を除く二十四件の議案等が所管の委員会へ付託されました。

最終本会議

二十一日の最終本会議は、冒頭で天皇陛下下の政治利用に反対する意見書案等十二件の意見書案が議員提案され、採決に先立ち、米軍普天間飛行場の県外・国外移設の早期決断を求める意見書案については我如古一郎議員(日本共産党)から反対討論があり、採決の結果、賛成多数で認定され、他の六件は全会一致で可決・認定されました。

那覇市長期継続契約を締結することができるとの契約を定める条例制定案では、委員から「行政上の利点はどこにあるか」との質疑があり、当局から「債務負担行為を設定しなくとも長期の継続的契約及び入札行為が行えること等」との答弁がありました。

常任委員会の
主な審査概要

総務常任委員会

建設常任委員会
モノレール旭橋駅周辺市街地再開発事業の増額補正について、当局から「市の負担はない」との説明に対し、委員から「民間が行う事業は民間がお金を出して進めるべきであり、看過できない問題点がある」との反対討論がありました。

教育福祉常任委員会
(仮称)牧志・安里公民館図書館プラネタリウム設置工事の請負契約案では、委員から「設置することによる教育関係者の期待はどの程度か」との質疑があり、当局から「中学校理科教諭は生徒の理科離れを食い止めること等を期待している」との答弁がありました。

厚生経済常任委員会
那覇市ぶんかテンプス館の指定管理者の指定案では委員から「公募で選定されたといえども、指定席の管理者にならないよう、指定管理者のあり方について検討してほしい」との意見がありました。

代表・個人質問
各会派の代表質問は七日、八日の二日間、個人質問は九日から四日間行われました。(457面に要約内容を掲載)

最後に、厚生経済委員長の桑江豊議員から「ガープ川鉄砲水事故に関する事務調査」の中間報告がされました。

十日には、緊急雇用経済対策費を含む一般会計補正予算(第五号)の追加議案が提出されました。

十四日は、教育委員会の委員の任命及び人権擁護委員の候補者の推薦の二件の人事案件が全会一致で同意されました。

各会派の代表が市政をたずねる
代表質問

国保特別会計赤字決算への対応

渡久地 政作



一、国保行政について伺う。
①平成二十年度国保特別会計の決算状況について
②赤字決算の原因について
③今後の対応について
二、給食費値上げの実施時期と改定額について伺う。
副市長・教育長 関係部長

中期財政計画の課題

仲松 寛



一、中期財政計画の概要及び課題について伺う。
二、市街地再開発事業(牧志・安里地区、モノレール旭橋駅周辺地区、農連市場地区)の進捗状況を伺う。
市長・関係部長

小学校区コミュニティモデル事業
亀島 賢二郎



一、小学校区コミュニティモデル事業完成に向けての取り組みと課題を伺う。
二、預かり保育推進事業について、進捗状況と事業計画について伺う。

うるま市の中学生集団暴行死事件

唐真 弘安



一、うるま市で発生した中学生暴行死事件と同様な事件が那覇市内で起こった場合、校長、教頭、教育長、教育委員長の責任の所在はどうなっているのか。
二、銘苅庁舎敷地内通路と銘苅小学校敷地内通路を結ぶ敷地内通路事業について、今後、どのように整備されるのか伺う。

副市長・教育長
一、責任の所在については、一義的には学校長に責任があるが、行政としての責任者は教育長である。教育基

今年度中にモデル地区の選定、協議会への行政の支援体制の確立、要綱制定等の詳細な制度設計を行い、平成二十二年に、地域課題の把握、整理等を行った後、十月頃の設置を目指している。行政においても、全庁的な検討組織の設置を行い、取り組みを開始したいと考えている。
二、預かり保育は、平成三十三年に三園で試行的に開始し、現在では二十四園、平成二十二年には三十一園の予定となっている。今後とも拡大を図りたい。

本法に、「個人の価値を尊重」「生命を尊び」とあるように、取り返しがつかない事件・事故を絶対に起こさないということが責任者の使命であると考えている。
教育委員会としては、今後とも、学校、家庭、関係機関、団体と行動連携した指導体制を確立し、今回の様な事件が繰り返されないように全力で取り組んでいく決意である。
二、銘苅庁舎敷地内通路を整備するための実態調査費を平成二十二年予算に要求し、どのような整備工事手法が適正であるかなどを検討し、その調査結果を踏まえ、関係部局と調整しながら早急に整備し、児童や市民の皆様の安全確保を図っていききたい。



がん検診における無料クーポン券の成果

公明党

大浜 美早江



一、女性のがん（乳がん・子宮頸部がん）検診の無料クーポン券の実施状況、成果を伺う。
二、要介護認定業務の内容と課題を伺う。

□関係部長

一、女性のがん検診における無料クーポン券の実施状況は、乳がん検診が対前年比で四・一倍、子宮がん検診は対前年比で十二倍に増加している。さらに胃がんや大腸がん等のがん検診の受診率も向上していることから、今回の無料クーポン券が市民にインパクトを与え、相乗効果があったのではないかと捉えている。
二、要介護の認定に至るまでの手順については、市の職員等が自宅等を訪問して

心身の状況調査を行い、その結果と主治医意見書を基に介護認定審査会で審査を行い、要支援一・二、要介護一～五の区分で認定する仕組みとなっている。
課題については、専門職の認定調査員が上限五年間雇用の非常勤職員で人材確保が困難な為、欠員が出て、介護認定業務に遅れが生じていることである。課題解決策として、法人への一部委託を検討している。

緊急雇用創出事業を活用した遺骨収集

公明党

喜舎場 盛三



一、国の緊急雇用創出事業を活用した遺骨収集事業について
②国の責任で事業を実施す

るよう要望できないか伺う。
二、新型インフルエンザ対策について、子どもの予防ワクチン接種費用を可能な限り助成できないか伺う。

で大きな成果があった。
②本事業を実施した成果をまとめた上で、今後は国の事業として実施するよう提案していきたい。

□関係部長

一、①遺骨収集事業はホームレスの自立支援を行うNPO法人に委託したが、この作業に参加したことをきっかけにこれまでの生活を振り返り、生きる自信を取り戻したホームレスの方々がおり、今後の生活立て直しの第一歩が出来たという点

米軍基地問題について

日本共産党

湧川 朝渉



一、海兵隊の県内全面撤退を求める県内大学教授やジャーナリストら有識者の声明に対する見解を問う。
二、特別養護老人ホームを南部地域で百床との県計画については、本市への増床を県と交渉すべきである。

一、海兵隊の県内全面撤退を求める県内大学教授やジャーナリストら有識者の声明に対する見解を問う。二、特別養護老人ホームを南部地域で百床との県計画については、本市への増床を県と交渉すべきである。一、全面撤退が実現すれば、

高校歴史教科書改ざん問題について

日本共産党

比嘉 瑞己



一、文部科学大臣は、歴史教科書の沖縄戦強制集団死記述から日本軍の強制を削除させた検定意見を「適正な経過だと認識している」と述べた。見解を問う。

二、来年度からの後期高齢者医療保険料はいくらか。

□市長・関係部長

一、極めて残念である。間違った歴史認識は、国民を再び誤った道へ進ませるのではないかと危惧する。歴史の教科書は真実を次世代に伝えるものでなければならぬと考える。

二、仮に本県で、報道等にある全国平均約十三・八%増加と仮定し、低所得者軽減策を考慮しない等を前提とした場合、一人当たり一万七十四円の増加となる。

奥武山野球場のネーミングライツについて

民主党

清水 磨男



一、ネーミングライツの進捗状況を伺う。
二、おもろまち一丁目の着工以降、警察の出動があっ

たが、市が現場の状況を確認したか、地元の方々の話を聞いたか伺う。

□関係部長

一、ネーミングライツについては、今般の経済事情を勘案し、募集時期及び契約期間等について現在慎重に見極めているところである。二、事業者が確認したところ、トラブルが多く発生しているとのことである。また、住民からの話は聞いていない。

たばこ特別税見直しで財源確保を

民主党

山川 泰博



一、たばこ特別税は旧国鉄の借金返済に充てられている

る。見直しで財源確保はできないか。見解を伺う。

二、二〇二〇年オリンピックの競技誘致について考えはあるか見解を伺う。

□関係部長

一、たばこ特別税の見直しについては、地方税財源の拡充策の一環として、県や沖縄県都市税務協議会へ問題提起し、県内十一市と共に検討したいと考えている。

おもろまち超高層ビル建設問題について

社連連合

宮平 のり子



一、①おもろまち超高層ビル建設について、「事業提案書」を再チェックし、指

導すべきではないか。

□関係部長

一、①事業提案書のとおり住民説明会及び意見交換会が開催され、事業者は九項目の修正を行い、建設計画、

一、平成十八年十月一日から適用された那覇市地域活動支援センターⅢ型事業実

地域生活支援事業に的確な指導を

改革クラブ

久高 友弘



一、平成十八年十月一日から適用された那覇市地域活動支援センターⅢ型事業実

能強化事業部分を加えて、四百五十万円で契約できるものであった。十九年、二十年については那覇市との契約に基づき処理されており、取り戻しは残念ながらできません。ただし、二十一年度については要綱改正により四月一日に遡って契約変更をします。

今後事務処理については十分な注意をしていきたい。

協定実現となった。

目的は、農作業や畜産農家での体験学習を通し、働く喜びと感謝の心を育み、少年の非行防止や立ち直り支援と健全育成である。

②「友愛フレンド農園」の開園式を十二月四日に豊見城市与根のJA所有地にて実施した。

今後は小緑中、鏡原中、金城中学校を中心に、不登校等の問題を抱える生徒を対象に進めていく。

少年の居場所づくりについて

そうぞう

宮國 恵徳



①農業体験を通した「少年の居場所づくり」を立ち上げようと考えた目的について伺う。

②県内で初めての取り組みで今月の初旬から実施する予定と聞いている。日時と場所、そして対象となる学校や生徒はどのように選定するか伺う。

□関係部長

①「少年の居場所づくり」に関する協定については、小緑・豊見城地区少年補導員協議会の協力依頼にJA豊見城が快く応え、今回の



那覇空港新貨物ターミナル事業

■久高将光(自民・無所属連合)
全日空の国際貨物基地事業の状況について伺う。

□関係部長
県の調査によると、目標の年間四十万トン規模の貨物取扱高に到達すると、各種産業の波及効果を含め、

本市中心市街地の活性化を

■翁長俊英(公明党)

テンプス館前広場は、道路として、本市が県からの委託管理を行っているが、「島人ぬ宝プラザ」等、テンプス館との相乗効果を図り、物品販売等を伴う多目的広場としての検討を伺う。

学力向上対策における全国学力調査

■永山盛廣(自民・無所属連合)
次年度の全国学力調査について、文部科学省は全員参加方式を変更するとのことだが、本市の対応を伺う。

□関係部長
文部科学省から、次年度の全国学力調査は、全国の

学校給食費の値上げ問題

■山川典二(改革クラブ)
十二年ぶりに学校給食費が値上げされる予定だが、十分に議論がなされたのか伺う。

□関係部長
学校給食費の値上げについては、那覇市学校給食費

マチグワー活性化について

■渡久地政作(自民・無所属連合)
①那覇にぎわい王国(国際通りでDS!)について
②マチグワーの活性化につながるか、見解を伺う。

□関係部長
①市と那覇商工会議所等で構成している那覇市地域雇

就学援助制度について

■前田千尋(日本共産党)
眼鏡・コンタクトレンズの実費及び検査代も援助制度に含めるべきである。

①眼鏡を必要とする可能性のある子どもの割合を伺う。
②眼鏡を必要とする子ども

肺炎球菌ワクチン予防接種の助成

■下地敏男(社連連合)

肺炎の主な原因に肺炎球菌があり、重症化しやすいといわれている。県内では嘉手納町と久米島町が助成制度をスタートさせている。本市も制度導入は急務と考えるが、見解を伺う。

子ども政策に関した税金問題について

■我如古一郎(日本共産党)
①給与収入六百万円の世帯で配偶者控除と扶養控除(六十五歳一人扶養)が廃止の場合の増税額を伺う。
②給与収入四百万円で子供手当でなしの世帯で、配偶

児童クラブや地域学校連携施設の設置について

■宮里光雄(改革クラブ)
地域の要請にどのように応えているか説明を求める。

□関係部長
児童クラブは、放課後の安全・安心の居場所として学校内配置が大変望ましいと考えている。古蔵小学校、

生活困窮者支援について

■仲松寛(自民・無所属連合)
①生活保護受給者への就労支援策を伺う。
②生活困窮者支援策を伺う。

□関係部長
①就労支援員を配置し、就職活動サポートをする他、

大名小学校改築について

■大浜安史(公明党)

大名児童クラブは、大名小学校の空き教室に配置されている。同小学校校舎改築において、大名生涯学習館及び大名児童クラブの配置が基本設計に盛り込んでいるか伺う。

平和行政について

■湧川朝渉(日本共産党)

エアーフエスタをただちに中止し、F15戦闘機とブルーインパルスの飛行等を中止すべきではないか。

□関係部長
市民生活の安全の観点から、那覇基地指令に対し、

牧志公園照明灯増設について

■野原嘉孝(公明党)
牧志青年会の旗頭の練習会場である牧志公園に、広場を照らす照明灯増設ができないか伺う。

□関係部長
外灯増設については、新

市民会館の老朽化対策について

■糸数昌洋(公明党)
老朽化対策と課題及び建替事業の展望を伺う。

□関係部長
老朽化が大きな課題となっており、安全対策を最優先し、年次的に対策をとっている。コンクリート

障がい者へのワンストップサービスを

るように検討してはどうか。

■屋良栄作(自民・無所属連合)
障害者自立支援法により、身体・知的・精神の障がい者に対するサービスの共通利用が可能になったが、障害者福祉センターでワンストップサービスを提供でき

国場川旧河川敷の公園整備

■花城正樹(民主党)

仲井真・上間地区の国場川旧河川敷を公園として整備する計画について伺う。

□関係部長
地元で「くねくね公園」と呼ばれている旧河川敷は、沖縄県が所有しているが、

旧軍飛行場用地問題について

■平良仁一(自民・無所属連合)
(仮称)鏡水コミュニティセンター建設事業の進捗状況を伺う。

□関係部長
現在の進捗状況は、基本設計を実施している段階で、

不発弾処理について

■亀島賢二郎(自民・無所属連合)
不発弾処理事業の国からの支援について伺う。

□関係部長
今年度から公共事業における現地処理にかかる処理壕構築費用は、全額国の負担となっており、民間工事

下水道行政について

■新屋清喜(そうぞう)
楚辺二丁目地域の下水道整備の実態を伺う。

□関係部長
当該地域は、狭隘な場所に設置する技術的問題等があり、整備が遅れていた。道路占有者の県との占用

仮庁舎跡を保育行政の拠点及び緊急避難所に

■坂井浩二（そうぞう）

仮庁舎跡に保育施設を整備し、待機児童の解消並びに災害時の緊急避難所としての有効活用を進言したい。

□関係部長

仮庁舎建物は、賃貸借契約終了後に民間業者に返還

（仮称）新都心第二小学校のバリアフリー

■宮平のり子（社社連合）

（仮称）新都心第二小学校新築事業概要とバリアフリーについて伺う。

□関係部長

平成二十二年度から着工し、二十四年度に開校予定である。施設の概要は地域

新たな支援記録簿運用に十分な保護者の理解を

■桑江 豊（公明党）

①保護者への理解と対応を問う。

②新たな支援記録簿の活用開始時期を問う。

□関係部長

①市PTA連合会と連携し、

非婚母子世帯に対する寡婦控除

■前泊美紀（無所属）

本市の保育料と市営住宅使用料について、所得税法上の寡婦控除の非婚母子世帯に対する「みなし適用」を実施しているか、または実施予定はあるか伺う。

□関係部長

非婚母子世帯に対する「みなし適用」は実施していない。保育料については現時点では実施困難だが、国の動向等に注意して調査、研究していきたい。

認知症サポーター養成について

■大浜美早江（公明党）

意義・目的と制度の概要と本市の養成状況を伺う。

□関係部長

意義・目的は、認知症を正しく理解してもらい認知症高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづく

学童保育について

■比嘉瑞己（日本共産党）

老朽化している与儀幼稚園の改築の際には、与儀学童クラブの専用施設を建設すべきである。

改築予定年度と当局の見解を問う。

□関係部長

与儀幼稚園の改築については、平成二十四年度に基本設計を予定している。学童クラブの専用施設については、改築時に学校敷地の状況等を踏まえ、検討・対応していきたい。

とまりん再建について

■久高友弘（改革クラブ）

とまりんに市民や観光客等が集まり、活性化すれば、経営も安定すると考える。とまりん再建の思いを伺う。

□市長

離島の魅力を泊港とつながることで観光面で大きな力

城北小学校周辺の安全管理対策について

■玉城 彰（民主党）

一、城北小学校周辺のガードレールが路面との間隔が広く大変危険である。対策について伺う。

二、首里石嶺線道路の旧北部マート前の信号機の改善

□関係部長

一、応急対策として注意喚起の看板の掲示を行い、ハード面も検討していきたい。二、那覇警察署と信号機設置の調整をしていきたい。

おもろまち元市役所予定地について

■平良識子（社社連合）

市は地域再生計画の変更及びスケジュールを市民に對して情報公開し、住民の懸念事項など説明責任を果たすべきではないか。

□関係部長

オフィス棟からの着工は

運動場のナイター設備について

■瀬長 清（自民・無所属連合）

野球振興のため、中学校の運動場にナイター設備を整備することについて伺う。
①経費について
②ナイター設備の設置について

□関係部長

①一校あたりの設置に約七千万円、維持管理費は約百三十万円と見込んでいる。②中学校の夜間運動場開放の利用状況等を見ながら検討していきたい。

小禄「森口公園」整備について

■高良正幸（自民・無所属連合）

整備の進捗状況及びトイレの設置について伺う。

□関係部長

平成十一年度に約七分の一を供用開始した。今年度は用地取得及び園路工事を

行う予定であり、歴史的背景も踏まえた公園として位置づけ、特色ある公園づくりに努めていきたい。

トイレの設置については自治会等の意見を踏まえ取り組んでいく。

校庭や公園の芝生化について

■山川泰博（民主党）

①芝生化の課題は、地域、学校関係者へのアンケートにより把握し、推進するべきと考える。見解を伺う。
②（財）日本サッカー協会グリーンプロジェクト導入の検討について伺う。

□関係部長

①試験校の芝の適合性及び管理体制等の検証をもとに保育所も含めアンケート実施を進めていきたい。
②先行実施校等の検証結果を踏まえ、関係者と協議していきたい。

幼稚園に対する給食支援

■清水磨男（民主党）

小学校や保育園において給食制度があるが、幼稚園に対する給食支援についての考え方を伺う。

□関係部長

幼稚園に対する給食支援

は、子育て支援及び教育時間の延長等、幼児教育の充実を図る上で重要である。

平成二十四年度開園の新都心総合施設においては、幼稚園児に対しても給食を提供する予定である。

発達障がい者・児支援コーディネーター事業

■唐真弘安（自民・無所属連合）

発達障がい者・児支援コーディネーター事業の内容及び意義を伺う。

□関係部長

本事業は発達障がい者・児支援のため、専門的コーディネーター及び相談員を

配置し、発達障がいの実態把握と課題の分析及び発達支援システムの構築を図るものである。このシステム構築により、関係各課が横断的な連携をとり、発達障がいの早期発見、早期支援等が可能となる。

中心市街地活性化について

■山城誠司（自民・無所属連合）

公設市場の有効活用として、高齢者のための休憩所や医療施設、子育て支援施設の検討を伺う。

□関係部長

牧志公設市場雑貨部、衣料部の空き小間については、

識名霊園について

■與儀實司（自民・無所属連合）

識名霊園北納骨堂は老朽化による建替えが必要である。また、識名霊園の運営につき指定管理者制度の必要性を伺う。

□関係部長

建替えは、一階部分を合

葬市民共同墓、二階部分を納骨堂とし、平成二十三年

度から二十四年度にかけて、実施設計及び建設工事を行い、平成二十五年度の供用開始を目指している。指定

管理者制度導入も前向きに取り組んでいきたい。

病院構内へのバス停設置を

■古堅茂治（日本共産党）

天久東急ホテル跡地に大浜第一病院が移転したが、国道五八号の天久第一バス

停から距離があり、通院や見舞いのお年寄りや市民から路線バスを病院構内に乗り入れてほしいとの声があ

□関係部長

距離が長く不便な状況から、バス事業者に対し、病院へ乗り入れが可能かどうか、調整していきたい。

指定管理者制度について

■安慶田光男（自民・無所属連合）

指定管理者選定時に補助金団体と純粋な民間企業を同条件でスタート点に立たせるのは不公平ではないか。

□関係部長

補助金、運営負担金を受ける団体が指定管理者にな

若者の自立支援について

■喜舎場盛三（公明党）

若者サポートステーション事業の概要と成果を伺う。

□関係部長

ニートと言われる方々を相談から自立支援まで一貫した支援を行うことを目的とし、ジョブ体験等の実施、

子どもたちが不登校やニートにならないよう、就労を意識させるためのキャリア教育の講演会を各学校で実施している。利用登録者数が約百人、四月～十月の利用件数は延べ六百三十三件である。

市議会だよりと会議録は、那覇市議会ホームページで見ることができます。
なお、十二月定例会の会議録は、二月中旬に発行予定です。

12月定例会で可決された12件の意見書

※意見書の内容は「那覇市議会ホームページ」で確認できます。

事件番号	件名	議決結果	提出者
意見書案第4号	天皇陛下の政治利用に反対する意見書	原案可決 (賛成多数)	久高将光議員、糸数昌洋議員 古堅茂治議員、久高友弘議員
意見書案第5号	「国は地方の声を聴く仕組みを保障する」ことを求める意見書	〃	安慶田光男議員、糸数昌洋議員 古堅茂治議員、宮里光雄議員
意見書案第6号	米軍普天間飛行場の県外・国外移設の早期決断を求める意見書	〃	屋良栄作議員、糸数昌洋議員 宮里光雄議員
意見書案第7号	鳩山総理の政治資金偽装献金問題の徹底究明を求める意見書	〃	永山盛廣議員、糸数昌洋議員 古堅茂治議員、久高友弘議員
意見書案第8号	平成22年度予算の年内編成を求める意見書	原案可決	渡久地政作議員 亀島賢二郎議員
意見書案第9号	子ども手当創設に関する意見書	〃	渡久地政作議員 亀島賢二郎議員
意見書案第10号	地方議会議員年金制度に関する意見書	〃	渡久地政作議員 亀島賢二郎議員
意見書案第11号	緊急経済・雇用対策の早期実施を求める意見書	〃	渡久地政作議員 亀島賢二郎議員
意見書案第12号	失業給付の全国延長給付の発動を求める意見書	〃	渡久地政作議員 亀島賢二郎議員
意見書案第13号	保育制度に関する意見書	〃	高良正幸議員 比嘉瑞己議員
意見書案第14号	改正貸金業法の早期完全施行等に関する意見書	〃	桑江 豊議員 山城誠司議員
意見書案第15号	第1次補正予算の凍結解除を求める意見書	原案可決 (賛成多数)	糸数昌洋議員、屋良栄作議員 山川典二議員

奥武山野球場を視察



教育福祉常任委員会（高良正幸委員長）と建設常任委員会（與儀實司委員長）は、十二月二十二日に、完成に向けて着々と整備が進む奥武山野球場を視察しました。

現場では、プロ野球公式戦が開催される施設として、一万五千人を収容する固定の内野席（立ち見の外野席と合計して約三万人を収容）、国内有数の規模の大きな屋根、ナイター照明、球場内屋内投球練習場や素振り室等について、担当者から説明を受けました。

那覇市障害者福祉センターの現場調査



教育福祉常任委員会（高良正幸委員長）は、十二月十六日に、（社）那覇市身体障害者福祉協会から提出された「平成二十一年度通常総会に於ける決議事項について」の陳情の中にある、那覇市障害者福祉センターの建て替え要請について施設建物の調査を行いました。

現場では、社会適応訓練室や機能回復訓練室等を視察し、担当者からは、老朽化した施設を建て替えることにより、新たに身体的・知的・精神の障がい者が、同一の場所において就労支援事業等、互いの障がいを補いながら協力して各種の事業へ取り組むことができる活動の拠点となる、との説明がありました。

普天間飛行場の県内移設に反対する県民大会に参加



米軍普天間飛行場の移設問題で、名護市辺野古など県内への移設に反対する県民大会が十一月八日に宜野湾海浜公園で開かれましたが、那覇市議会議員も大会に参加し、基地のたらい回しに反対の声をあげました。

行政視察の受け入れ

2日	愛知県北名古屋市議会	8人
5日	千葉県木更津市議会	7人
6日	長野県上田市議会	6人
15日	長野県東御市議会	2人
16日	和歌山県議会	13人
20日	青森県八戸市議会	3人
27日	東京都大田区議会	10人
28日	北海道共和町議会	8人
29日	愛媛県松山市議会	11人
	埼玉県所沢市議会	10人
	福岡県行橋市議会	3人
	東京都小金井市議会	8人
	石川県議会	15人
	茨城県つくば市議会	6人
	熊本県荒尾市議会	8人
4日	広島県廿日市市議会	5人
6日	静岡県伊東市議会	5人
9日	千葉県八千代市議会	9人
12日	新潟県十日町市議会	7人
13日	千葉県松戸市議会	4人
16日	長崎県佐世保市議会	12人
17日	福岡県大牟田市議会	3人
18日	山形県寒河江市議会	10人
19日	大分市議会	4人
24日	仙台市議会	9人
25日	富山市議会	6人
26日	大分県田尻町議会	7人
27日	大分市議会	4人
28日	宮城県大郷町議会	3人
29日	徳島県吉野川市議会	12人
30日	岡山県倉敷市議会	2人
31日	岩手県盛岡市議会	6人
	広島市議会	13人
10日	大阪市議会	4人
17日	兵庫県加古川市議会	5人

二月定例会は二月十六日に開会予定です。

（放送日時：本会議開催当日の午後6時から）

定例会本会議の様子は、OCNにて録画放送を行っております。

12月定例会 審議結果の一覧

事件番号	件名	議決結果
議案 第92号	平成20年度那覇市下水道事業会計決算	原案可決
議案 第101号	那覇市教育委員会の委員の任命について	同意
議案 第102号	那覇市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案 第103号	那覇市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について	〃
議案 第104号	那覇市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	〃
議案 第105号	那覇市介護保険条例及び那覇市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議案 第106号	那覇市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(賛成多数)
議案 第107号	那覇市都市モラル整備基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案 第108号	那覇市手数料条例の一部を改正する条例制定について	〃
議案 第109号	那覇市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	〃
議案 第110号	財産の処分について	同意(賛成多数)
議案 第111号	平成21年度那覇市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案 第112号	平成21年度那覇市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案 第113号	平成21年度那覇市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案 第114号	平成21年度那覇市市街地再開発事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成多数)
議案 第115号	平成21年度那覇市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案 第116号	平成21年度那覇市病院事業債管理特別会計予算	〃
議案 第117号	工事請負契約について(首里支所建設工事(建築))	同意
議案 第118号	那覇市ぶんかテンプス館の指定管理者の指定について	〃
議案 第119号	土地収用事件(那覇広域都市計画道路事業3・5・那15号牧志壺屋線)に関する和解について	〃
議案 第120号	工事請負契約について(石嶺市営住宅第3期建替工事(建築・1工区))	〃
議案 第121号	工事請負契約について(石嶺市営住宅第3期建替工事(建築・2工区))	〃
議案 第122号	工事請負契約について(石嶺市営住宅第3期建替工事(建築・3工区))	〃
議案 第123号	那覇市行政区域内の一部を浦添市道に認定することの承諾について	〃
議案 第124号	工事請負契約について((仮称)牧志・安里公民館図書館プラネタリウム設置工事)	〃
議案 第125号	平成21年度那覇市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
認定 第1号	平成20年度那覇市水道事業会計決算	認定
認定 第2号	平成20年度那覇市一般会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
認定 第3号	平成20年度那覇市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定 第4号	平成20年度那覇市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	〃
認定 第5号	平成20年度那覇市老人保健特別会計歳入歳出決算	〃
認定 第6号	平成20年度那覇市市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
認定 第7号	平成20年度那覇市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定 第8号	平成20年度那覇市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
陳情 第7号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について	採択
陳情 第14号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について	〃
陳情 第21号	大名小学校改築に伴う大名児童クラブの設置について	〃
陳情 第22号	保育所老朽化に伴う施設整備について	〃

12月定例会の人事案件

■教育委員会委員の任命について

平成22年1月4日付けで任期満了となる委員の後任として、金城眞徳氏が任命同意されました。

■人権擁護委員候補者の推薦の議会意見について

平成22年3月31日付で任期満了となる委員中、再任で平良菊氏、島袋秀勝氏、宮里玲子氏、比嘉由美子氏、石川八代子氏、新たな委員として平良明美氏が諮問同意されました。

◆10月臨時会〔10月16日〕

この臨時会では、市長から工事請負契約（仮称・那覇市資源化推進センター建設工事）についての議案と報告1件が提出され、採決の結果、工事請負契約の議案は全会一致で可決・同意されました。

◆11月臨時会〔11月2日〕

この臨時会では、屋良栄作議員、糸数昌洋議員、玉城彰議員、宮國恵徳議員、平良識子議員、久高友弘議員から、「米軍普天間飛行場の県外・国外への移設を求める意見書」案が提出され、採決の結果、全会一致で可決されました。

◆11月臨時会〔11月25日〕

この臨時会では、渡久地政作議員、亀島賢二郎議員から、「米兵車両によるひき逃げ死亡事件に対する意見書」案及び抗議決議案が提出され、採決の結果、全会一致で可決されました。

また、市長からは、期末手当支給率を年間0.2月分引き下げるとの、那覇市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定案等2件の議案と報告2件が提出され、採決の結果、いずれも全会一致で可決されました。